

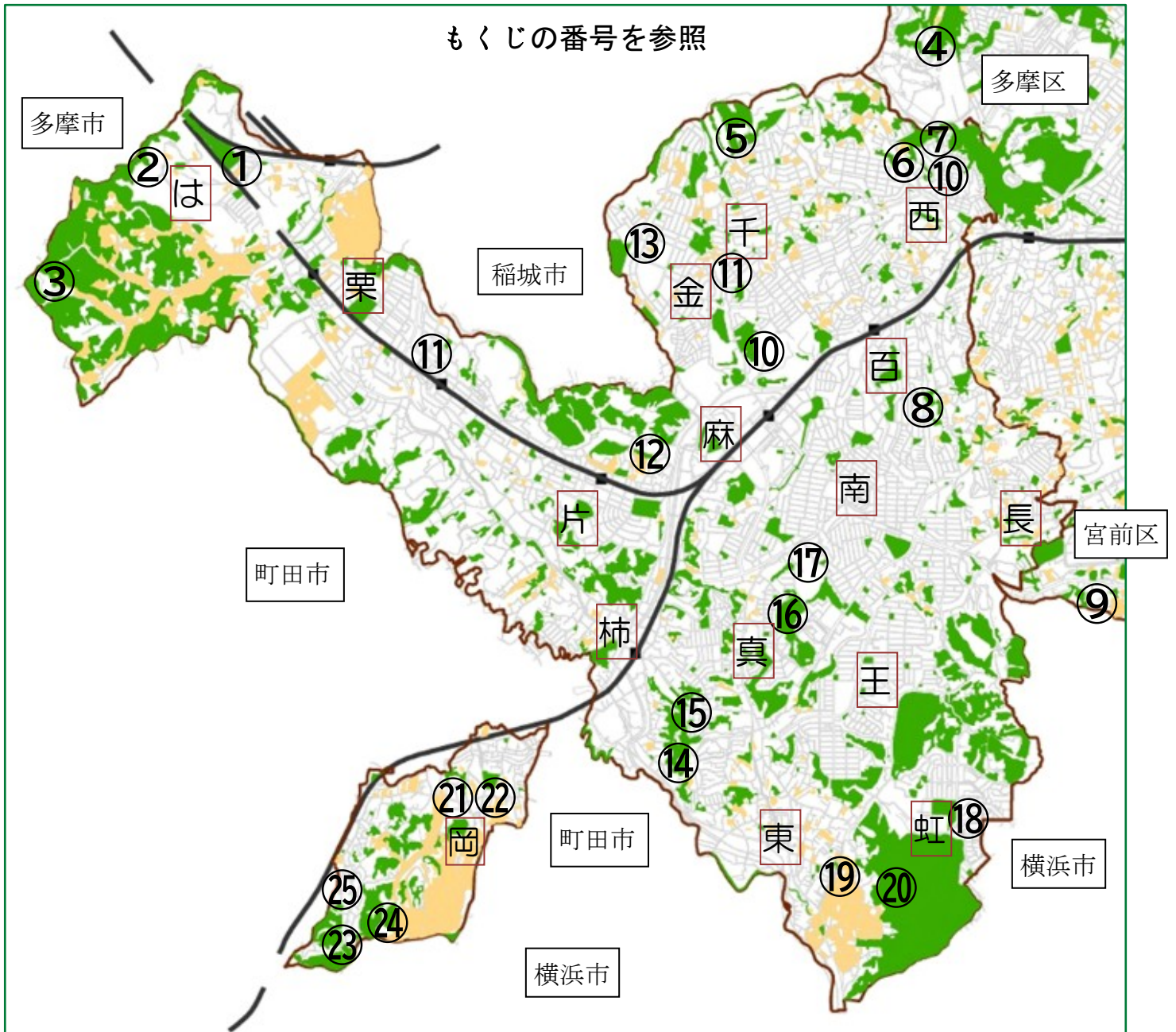
2025 里山フォーラム in 麻生 資料集 24

団体、施設の活動紹介

行政機関も含む

麻生区の緑のマップに 活動場所や施設の場所を記入

もくじの番号を参照



□は麻生区内の川崎市立小学校の位置です。

はるひ野小 栗木台小 片平小 柿生小 岡上小
 東柿生小 虹ヶ丘小 王禅寺中央小 眞福寺小
 麻生小 金程小 千代ヶ丘小
 西生田小 百合丘小 南百合丘小 長沢小
 別冊の『フォーラム資料集 小学校の紹介』参照

もくじ

マップ 番号	団体名	ページ	マップ 番号	団体名	ページ
多摩川流域					
三沢川流域			早野川流域		
①	はるひ野里山学校	2, 3	①⑨	があでん・ららら	28, 29
②	水辺のある里山を守る会	4, 5	②⑩	早野聖地公園里山ボランティア	30, 31
③	黒川里楽塾	6	鶴見川本川流域		
④	小沢城址里山の会	7	②①	麻生市民館岡上分館	32, 33
⑤	川崎授産学園	8, 9	②②	岡上郷土誌資料コーナー 岡上郷土誌会	34
五反田川流域			②③	和光大学・かわ道楽	35
⑥	多摩美みどりの会	10	②④	NP0かわさき自然と共生の会	36
⑦	麻生多摩美の森の会	11	②⑤	和光大学地域連携研究センター	37
⑧	高石みどりの会	12, 13	特定の場所に限らない団体ほか		
平瀬川流域			26	麻生区クールアース推進委員会	38, 39
⑨	はぐるま稗原農園	14	27	かわさきかえるプロジェクト	40, 41
鶴見川流域			28	グループ「せっけんの家」	42, 43
麻生川流域			29	麻生ヤマユリ植栽普及会	44, 45
⑩	麻生プレーパークを創る会	15	30	万福寺人参友の会	46, 47
⑪	ふらっと新百合ヶ丘	16	31	麻生区地域教育会議	48, 49
⑫	あさお生きごみ隊	17	32	麻生区子ども会連合会	50
⑬	森もりクラブ	18, 19	33	かながわトラストみどり財団	51
⑭	柿生の里クラブ	20, 21	34	川崎市環境局総務部企画課	52
⑮	まちはミュージアム-遊歩道ファンク ラブ(おっ越し山クラブ)	22, 23	35	川崎市建設緑政局緑政部	53
真福寺川流域				まちの凸凹と川	54
⑯	花と市民参加の会“コスモス”	24, 25	36	里山フォーラム からむし	55
⑰	吹込クローバーの会	26		里山こどもクラブ万福寺人参	56
黒須田川流域				写真展	57
⑱	虹ヶ丘おやじの会	27			

団体名	はるひ野里山学校			水辺が美しい 里山公園を 保全しています!	活動年数	20 年
					メンバー数	27 名
活動紹介	活動場所	黒川谷ツ公園（川崎市麻生区はるひ野5丁目9） 小田急多摩線はるひ野駅北口すぐ				
	活動日	* 年間 40 日前後(2024 年度は 42 日)だけ開園する閉鎖管理型公園の公園開放日に活動 月 3～4 回（9:30～15:00） ※ 午前のみ、午後のみ参加も可				
	【活動を始めた背景と活動内容】 「はるひ野、黒川地区の里山環境を保全し次代へ継承したい。」という思いで活動を始めてから今年で創立 20 周年という記念すべき年を迎えました！ 現在、主に次の活動を行っています。 ①川崎市麻生区にある黒川谷ツ公園の保全活動・動植物の調査、観察、記録及び紹介 ②自然環境に関する相互学習 ③ 社会貢献への取り組み:イベント開催、外部機関(県立博物館等) 講座や地域小学校へのサポート					
	【年間計画】 ・定例活動（湿地・田んぼ・水路の保全、間伐・枝打ち・笹刈り等の林床管理、公園内の草刈りと外来植物駆除、園内点検やゴミ拾い等の管理、アメリカザリガニ駆除、希少種の保全）・・・通年 ・はるひ野小学校総合学習サポート（年数回） ・モニタリング調査や希少種の調査（年数回） ・定点撮影（毎月 1 回） ・観察会（春） ・ホームページや蓄積データ管理 ・活動報告会 ・神奈川県立 生命の星・地球博物館主催講座のサポート（2025 年 10 月予定）					
2024 年度のトピックス	・4/21 春のイベント「里山散策デー」・「活動報告会」・地域イベント協力での同日開催 400 人以上という過去最多の方々に来園していただき盛大なイベントとなりました。また、麻生区役所道路公園センター、はるひ野小学校職員をはじめ活動報告会ご来賓の方々に「里山散策デー」へ参観いただき交流を深めました。更に行政との協働として市政 100 周年の PR や地域イベントとしてのスタンプラリーの会場にもなり、賑やかで楽しい一日となりました。 ・7/7 行政と共催で「ヤマブキとヤマツツジの剪定講習会」を実施 ・10/19 神奈川県立生命の星・地球博物館の「本当は怖いアメリカザリガニ」講座が当公園で開催され、講座のサポートをしました。座学でのアメザリの生態学習、フィールドでのザリガニ駆除体験や専門家によるトンボ/水生昆虫の解説など、貴重な学びの場となりました。 ・11/17 里山フォーラム in 麻生主催講座としてイベント「来て 見て さわって “黒川谷ツ公園” を知ろう!」を開催。映像による黒川谷ツ公園の生き物紹介や水辺のフィールドワークによる水生生物観察、秋を楽しむフィールドビンゴを実施しました。					
課題	・昨年同様、ナラ枯れ枯死木・古木・傾斜地に生える木等の倒木による事故リスクの回避が課題。被害防止の伐木が望ましいが、ボランティア会員での対処に限界があり対策が進みづらい。 また、太い落下枝も年々増え、度々の園内安全点検と対応に割く作業時間が増えてきています。 ・新規会員を増やすこと ・会員の作業参加率を上げるための工夫をすること。					
参加上の案内	☑ 会員募集中 ☑ 体験ボランティア募集中（道具の貸し出しあります） ☑ 寄付金の受付中（賛助会員登録・特典 特別観察イベントへご招待） 公園開放日にスタッフへお声かけくださるか、下記へご連絡ください。					
代表者	名前 こみね あきら 小峯 聡 住所 〒214-0039 川崎市多摩区栗谷 4-2-9 はるひ野里山学校代表 E-mail: haruhinosatoyamagakko@gmail.com					
連絡先 (事務局)	名前 小峯 美香（事務局） 電話 080-7005-3736 ホームページもご覧ください: https://haruhinosatoyama.jimdo.com/					

イベント開催

[illegible]

市政 100 周年のぼりと看板

剪定講習会開催

＜フィールドワーク＞（左）ザリガニ駆除中
（右）ガサガサで捕獲した水辺の生き物を観察

団体名	水辺のある里山を守る会		活動年数	16年
			メンバー数	40家族
活動紹介	活動場所	黒川よこみね緑地（麻生区はるひ野）		
	活動日	第2/第4土曜日 9時半～12時（水曜日も活動しています）		
	活動を始めた背景			
	私たちが活動している黒川よこみね緑地は、麻生区はるひ野の住宅地に隣接する緑地です。湧き水が出る水路や池、それらを取り囲む樹林・竹林の斜面地と草地からなる豊かな自然に恵まれた里山です。 水辺があることにより多くの昆虫、魚、カエルなどの生き物や山野草が生息し、カルガモ、カワセミ、シラサギなどの野鳥も飛来します。 これ等の豊かな里山と生き物を守り、多くの人たちに自然に親しんで貰えるよう活動を始めました。			
	活動内容			
2024年度のトピックス	1. 湧き水のある水源や池、水路の保全 2. 樹林の間伐と植樹、下草刈り 3. 草地、畔の草刈り、広場や通路の整備 4. 生き物の観察とその生息環境の保全及びモニタリング 5. アメリカザリガニ等外来種の駆除と希少種の保護			
	2017年より、地域の小学生を対象に、こども自然教室を開き、自然や生き物についての講座、観察、山野草を育てるなどの活動をしています。			
課題	1. ナラ枯れの被害でコナラが減少しているのを補うため、ドングリから育った、コナラ、クヌギの幼木を育て植樹する活動を続けています。 2. 黒川よこみね緑地で見られ、生息する多くの生き物を記録して残すため写真集を発行する準備を進めています。 3. こども自然教室は屋外の活動を中心に、続けています。			
参加上の案内	町内会のイベントへの参加等での会員募集で、新会員も増えてきましたが、女性会員も含め、更に会員を増やして行くことが課題です。			
代表者	■ 会員募集中 ■ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） 興味のある方は下記へご連絡ください。			
連絡先	名前 織野 章 住所 〒215-0036 麻生区はるひ野3-14-1 電話 090-7181-3090 E-mail ao150590@gmail.com ホームページ: Kawasaki.genki365 から検索 → 水辺のある里山を守る会			

水辺のある里山を守る会 活動状況



こども自然教室の観察会



ノハナショウブの苗植え



はるひ野小学校の野外授業協力

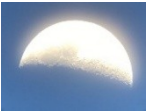


こども達とクリスマスリース作り

団体名	黒川 里楽塾		活動年数	12 年
			メンバー数	10 名
活動紹介	活動場所	麻生区黒川字明坪・黒川明坪緑の保全地域		
	活動日	毎月木曜日(主として第 2、第 4)		
	活動を始めた背景と活動内容、その他			
	1、 緑の保全活動に関わる期待、興味・関心があった。 平成 23、24 年度 2 年間の農地課主催研修会を修了したことで、実践的な活動の場が与えられ、またチームワークが出来た。 2、 樹木の伐採、下草の刈払い、竹林間伐、落ち葉を利用し堆肥作り。 及び、無農薬野菜の生産など、四季を通じて農と里山保全に関わる。 3、 通路、階段の新設と高木伐採により里山エリアの保全。 4、 ・畑の復元・シイタケ栽培 ・果樹の栽培、剪定 5、 地元農家さんとの交流により多くのものを得ることが出来た。 6、 活動メンバーの更新に対処。同じ農地課主催ボランティア育成団体みのり会から応援を得て、新たに数名が加わって活動復活を見る。それには、メンバーによる口コミと他団体との連携、活動内容の発信が功奏。			
2024 年度トピックス	◎ 域内のナラ枯れ対応の長期化に対処。 立入り禁止区域を設定。			
課 題	◎ 黒川地区の魅力を掘り下げ発信すること。 ◎ 黒川地区特有の人的交流を図る。			
参加上の案内	1、 会員募集中 2、体験参加歓迎（受入れ態勢あり） 3、寄付金受付 興味のある方は下記連絡先へ問い合わせ下さい。			
代表者	名前 小川 清			
代表代行連絡先	名前 小穴 誠 住所 〒215-0023 川崎市麻生区片平 1-3-25-307 電話 070-5011-6597 E-mail oana3ariake@yahoo.ne.jp			

団体名	小沢城址里山の会		活動年数	24 年
			メンバー数	40 名
活動紹介	活動場所	川崎市小沢城址特別緑地保全地区		
	活動日	定例作業日；毎月第2土曜日、第4日曜日 10～12 時		
	活動を始めた背景 2001 年、川崎市里山ボランティア講座及び活動計画ワークショップを経て 小沢城址の里山を愛する仲間たちが集い設立した。			
	活動内容；令和6年度は自然攪乱で景観変化した里山の再生を更に意識した活動 1、活動の活性化と安全作業 ・安全な省力化機材の採用促進、動力機材の安全防具着用等・安全な取扱い作業意識徹底 ・発生廃材活用など・畑作業で手づくりの楽しみを共有 ・里山講座に替え、県の 2024 年度「やどりき水源林の集い」に参加 2、景観改善と里山再生 ・遊歩道周辺の常緑樹枝伸長に伴う見透視悪化を枝打ちで景観改善 ・落葉広葉樹の種蒔きで苗木育成と実生広葉樹の移植で再生促進を期待 3、地域との連携活動 ・地元こども会と共催芋掘り会（芋の出来柄は昨年比やや劣、土壌の改善が求められる） ・菅ふるさと祭り参加			
2024 年度のトピックス	1、小沢城址里山の尾根北東側急斜面の一部が景観改善の目的で皆伐された。 （作業エリア外の川崎市事業） 2、里帰りで植えたヤマユリは、今年も確実に根付いて花を咲かせた。 更に大玉への成長を期待する。 3、林地に侵入するモウソウ竹の除伐を例年よりやや拡大実施した。			
課題	樹木の老齢化や自然災害による攪乱への林地再生は稚樹成長促進対策や応急植栽が引き続き求められる。また、サクラ科樹木に付く外来種のクビアカツヤミキリによる被害は発見されていないが、今後の被害に注意していきたい。			
参加上の案内	活動詳細；【公式】「小沢城址里山の会」HPをご覧ください。 年間活動実施予定表は現地里山頂上の広場に掲示しています。 □ 会員募集中 □ 体験参加者募集中（道具なし受入可） □ 寄付金の受付中 （年会費 1000 円、入会金なし）			
代表者	名前 島岡 功 電話 090-9828-3795	住所 〒 E - mail rtb62167@nifty.com		
連絡先	同上			

施設名	社会福祉法人セイワ		活動年	43 年
	川崎授産学園		メンバー数 (定員)	入所50名 通所 63 名 グループホーム16名
活動紹介	活動場所	下記の住所地 川崎授産学園内		
	○川崎授産学園は、豊かな自然に恵まれた障害者支援施設です。入所施設や通所施設、グループホームなどを利用しながら、豊かな自然や広い敷地を利用した様々な作業を行っています。裏山の森の中で栽培しているしいたけや、地域の方々に支えられながら腐葉土も作っております。腐葉土は地域住民の方からの問い合わせの多い商品となり、ご希望される方には配達も行っております(平日のみ・配達エリアは麻生区と多摩区。販売期間は例年2月～4月位迄)。その他、編み物製品、香り袋等の手工芸も揃えております。			
	○川崎市の委託によって実施している市民交流事業では、地域の皆さんに学園を訪れて頂き、障害や福祉について知っていただくために各種講座やイベントを実施しており、地域福祉拠点施設として多くの皆様にご来園いただきたいと思います。			
	○ボランティアの受入れも積極的に行っております。			
	※川崎授産学園では、施設の老朽化により令和5年11月より全面建替え工事を行っています。			
	建替え前の学園外観			
	《作業内容の一部を紹介します》			
	しいたけ栽培		腐葉土作業	
		自然豊かな学園の敷地		
	《作業製品の一部を紹介します》			
	腐葉土		手編みのマフラー	
		手作りハガキ		ラベンダーの香り袋
	《イベントの一部紹介》			
	年4回開催の天体観望会			
			親子手話体験教室	

活動紹介	◆市民交流事業は、年間を通して地域向け講座やイベントを実施しております。 感染対策を継続しながらイベントを行っております。詳細はホームページでご確認ください。 ＜年 間＞ ◇天体観望会（天体ドームで観望できます→） ◇音楽交流サロン奏 ・年 4 回実施しています。 ・開催日はホームページをご覧ください。    ＜不定期＞ ◇地域交流イベント（パステルアート等） ◇障害者支援講座（コーラス講座、親子手話・親子点字体験教室） ◇チャレンジボランティア（川崎市社会福祉協議会等関係機関と共催事業）等 ＜学園全体＞◇ふれあい秋祭り ◇草刈り ◇クリスマス会など ◆『ログショップゆめ』『喫茶処ゆめ』 ・川崎授産学園内で作っているお菓子の販売。 （ルシアンクッキー・シフォンケーキ各 100 円） ・地域のとれたて野菜（月・木曜仕入れ）・新鮮卵（月曜仕入）等の販売をしています。 ・『喫茶処ゆめ』（川崎授産学園内）で淹れたてのコーヒーや自家製お菓子、軽食をお楽しみいただけます。 営業時間 『ログショップゆめ』※12:00～13:00 休憩 月～金曜日 10:00～15:30 『喫茶処ゆめ』 月・木・金 10:00～11:30 13:00～15:00     ルシアンクッキー シフォンケーキ ※土・日・祝日・年末年始はお休みとなっております。 ※喫茶処ゆめをご利用の方は事前にご予約お願いします。
課題	・川崎授産学園敷地内のナラ枯れ ・利用者の高齢化 ・風水害における倒木のおそれのある樹木の伐採 ・感染症の感染対策
参加上の案内	ホームページやチラシなど。施設見学や活動、ご利用者付添い等様々なボランティアを随時募集しております。下記までお問い合わせください。 川崎授産学園では、現在、建替え工事を行っております。駐車場も大幅に制限させていただきます。ご来園の際はご一報いただけますと幸いです。
代表者	社会福祉法人セイワ 川崎授産学園 学園長 横山 裕一 住所 〒 215-0001 麻生区細山 1209 Tel044-954-5011 Fax044-954-6463 Email info@seiwa-gakuen.jp ＜交通＞小田急線新百合ヶ丘駅より小田急バス 4 番のりば「千代ヶ丘行」または「よみうりランド行」にて「千代ヶ丘」下車徒歩 10 分。

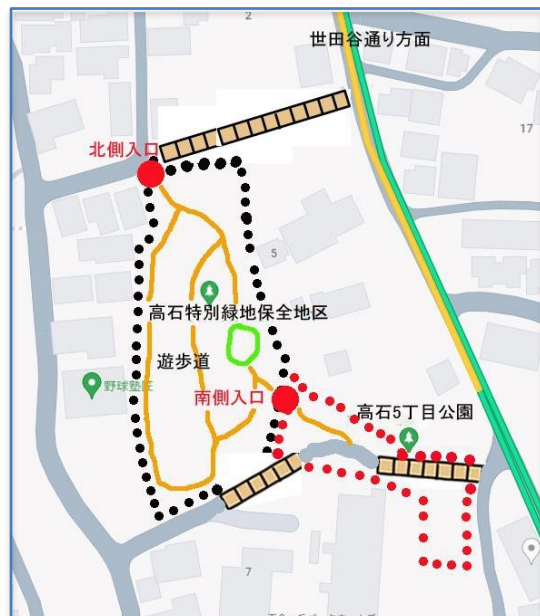
団体名	多摩美みどりの会		活動年数	44年			
			メンバー数	28名			
活動紹介	活動場所	多摩美ふれあいの森、日本たんぽぽ園、野草園					
	活動日	作業日：毎月第 2 日曜日 予備日：毎月第 4 日曜日					
	活動をはじめた背景 1980 年から多摩美周辺の里山や自然を守る運動を続け、川崎市および地権者の理解・協力を得て、多摩美ふれあいの森周辺の保全・管理を行っています。自然を楽しむイベントや山野草の観察会などを開催し、隣接する麻生区市民健康の森とは基本構想段階から積極的に参加・協力をしています。 活動内容 1. 日本たんぽぽ園・野草園の草刈り、保全管理。多摩美ふれあいの森の保全と清掃。活動場所への植樹。近年、整備の成果として自生のヤマユリが復活 2. 小中学校など自然観察や体験学習への協力 3. 町会との連携し、情報提供や公園清掃活動に協力 4. 市民健康の森と協力して、里山作業体験会を実施 5. 町会と連携したまにわカフェで、森のリース作り 6. 公園緑地協会の各種イベントへの参加 7. 単に草刈りなどの作業を行うのではなく、楽しみながら楽しく保全・育成活動を行うことで、若い方にも参加しやすい環境を作っています						
2024 年度のトピックス	1. 他の自然保護団体との保全作業などの連携や協力を実施 2. 町会との連携を深め、公園の清掃作業など協力 3. 緑のカーテン大作戦に協力して、ゴーヤの苗を配布 4. 草木をみんなで楽しめる場作りの一環として誰でも休息できる場所の整備 5. 植樹の実施、草花を楽しめるように整備						
課題	1. 地域の自然環境の恒久的な保全。その為の地権者との協力・友好関係の持続。周辺住民の活動参加と合意づくり。 2. 会員および活動参加者の拡大。若い家族の継続的参加など						
参加上の案内	☐ 会員募集中 ☐ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ☐ 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。						
代表者	名前 菊池一雄 住所 〒214-0004 川崎市多摩区菅馬場 3-26-8 電話/FAX 044-701-2826 E-mail kaz.ne74@gmail.com						
連絡先	名前 小田桐浩 住所 〒215-0003 川崎市麻生区高石 3-34-2-212 電話/FAX 044-966-7941 E-mail h_odag@yahoo.co.jp						

団体名	麻生多摩美の森の会		活動年数	25 年
			メンバー数	36 名
活動紹介	活動場所	麻生区市民健康の森（麻生鳥のさえずり公園）麻生区多摩美 2 丁目 22 番地		
	活動日	毎月 第 1 土曜日、第 3 日曜日。予備日として第 2、第 4 水曜日		
	【活動を始めた背景】 当会は 1997 年 3 月に川崎市が「かわさき健康都市」宣言を記念して「市民健康の森構想」を発表、麻生区市民健康の森構想委員会、構想推進委員会等を経て 2004 年 4 月、設立総会を開催し麻生区市民健康の森の別称を「麻生多摩美の森の会」とし本格的な活動を開始しました。会の活動は「麻生区市民健康の森推進計画」「総会」「月 1 回の幹事会」などで協議、決定した計画に基づいて活動をしています。			
	【活動内容】 ■里山自然環境保全の為に草刈、樹木の剪定など通常の活動は勿論の事、多摩美みどりの会、こもれびの会、西生田小学校、麻生プレーパークを創る会、森展の会、近隣町会・子供会などと交流活動を積極的に行っています。 天気の良い日は近隣家族の散歩、10 名前後グループの休憩所などで利用する方が多く安全で安心出来る場所・環境づくりを心掛けています。 ■「利用申し込み受付分」で 2023 年度が約 800 名、2024 年度が約 650 名（12 月末現在）受付以外を入れると年間 1,000 名位の方が利用していると推定します。			
2024 年度のトピックス	■昨年 11 月～今年 1 月の 3 ヶ月間で大人 5 人、子供 2 名の新会員が入会した。 ■諸般の事情で恒例の作業体験会が出来なかったのは残念。 ■西生田小学校の課外授業支援。 ■コロナの影響で中止していた「多摩美町会夏祭り」に 4 年ぶりの活動支援。 ■川崎市市制 100 周年記念で「市政功労賞」を受賞しました。			
課題	■会員の高齢化、体調不良者が多くなり活動者の減少、範囲が狭まって来た。 ■会の歴史と共に樹木が大きくなり過ぎ、広場や畑の日当たりが悪くなった。 ■古い大木が多くなり倒木、事故の心配あり（道路公園センタヘーに対処依頼済）			
参加上の案内	貴会からのいつものメッセージをご記入ください。 ☒ 会員募集中☒ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ☐ 事務局のスタッフ募集中☒ 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	氏名 小田桐 浩 住所 〒215-0003 川崎市麻生区高石 3-34-2-212 電話/FAX 044-966-7941 E-mail h_odag@yahoo.co.jp			
連絡先	同上 詳しくは HP をご覧下さい。			

団体名	高石みどりの会		活動年数	9 年
			メンバー数	15 名
活動紹介	活動場所	高石特別緑地（川崎市麻生区高石五丁目 2）		
	活動日	毎月第3日曜日（6～9 月は別に作業日を追加）		
	＜活動を始めた背景＞			
	● 高石特別緑地として行政が確保、2009 年に 150 万本植樹の一環で植樹祭が行われた。その後、手入れがなされずに鬱蒼たる雑木林に。 ● 2015 年川崎市公園緑地協会の支援を得て、緑に関心のある地域の有志が集まり「高石みどりの会」を立ち上げ。 ● 里山保全活動を行うとともに、近隣住民や会員同士の交流も深めてきた。			
	＜活動内容＞			
2024 年度のトピックス	● 里山保全活動 活動開始から 4 年間は、一面に繁茂していた「クズ」との戦いだった。その後、密植されていた「コナラ」などの間伐、下草刈り、遊歩道メンテなど実施。 随時、観察会や学習会を実施している。 ● 子どもの健全育成と地域住民との交流 自然観察会などを年 2 回のイベントを行ってきたが、コロナ蔓延で中断、2025 年 3 月に再開を予定している。 ● 2023 年 8 月から公園愛護会に参加、高石みどりの会に隣接する公園の清掃を行っている。また 2024 年度から高石特別緑地の開放を始めている。 ● 作業日の記録や、イベント結果は、OneDrive に保存、情報共有している。			
	● 行政の手で 2023 年度に斜面の最上段と中段に遊歩道が造成され、緑地としての環境が整った。高石 5 丁目公園入口も整備されたため、近隣住民が散歩道として利用しはじめている。両方の入口に、高石緑地の案内を表示する予定。 ● 入場者の増加に伴い、遊歩道の坂になっている部分に階段づくりを進めてきた。 （主に冬の作業として）間伐材の太い部分はステップに、細い部分は杭に利用、工事の技も上がってきた。（次ページ参照） ● 春から夏にかけて笹などの下草が伸び、道路公園センターの刈払機を 6 回借用。 特に笹の伐採に威力を発揮、助かっている。 ● 作業用の機材が増えたため、保管庫を追加・設置した。			
	課題			
	● 参加メンバーが少ないため、イベント開催が手薄になっている。 ● 高さ 20mのケヤキが 4 本密接しており、一部伐採したいが、そのままになっている。 ● 近隣の緑地保全団体との交流時間が作られない。			
	参加案内	☒ 会員募集中		



拡大図



夏の草刈り

DSC_2717 2024/06/02 09:52 緑地広場。刈払機の実演。右ハンドル側に二重のストップと動作レバーが付いている

お疲れ様

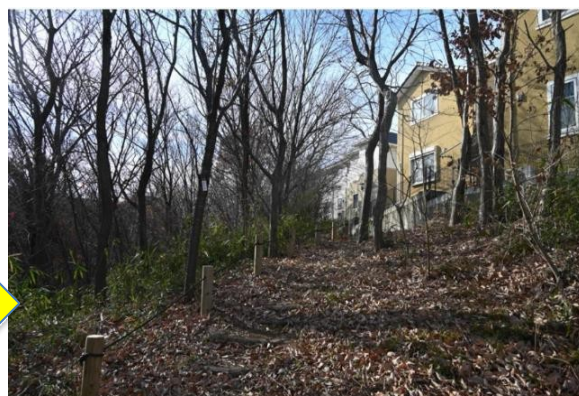


活動終了後の記念撮影



夏から冬へ

DSC_2660 2024/05/19 09:37 緑地入口から南西側斜面



DSC_3465 2025/01/19 09:38 緑地入口から南西側斜面



冬の作業

DSC_3489 2025/01/19 10:25 緑地南西側斜面。修復された階段



DSC_3481 2025/01/19 10:10 緑地南西端の階段修理。杭を打つところ

団体名	社会福祉法人はぐるまの会		活動年数	はぐるまの会設立から 40 年
	はぐるま稗原農園		メンバー数	はぐるまの会全体で利用者 53 名
活動紹介	活動場所	はぐるま稗原農園 宮前区水沢 2－10－2		
	活動日	月曜～金曜 9：00～15：00		
	活動を始めた背景 はぐるまの会は、養護学校を卒業した青年・成人期の主に知的に障害をもつ仲間たち（利用者さん）が、力いっぱい働くための作業所と生まれ育った地域ですと暮らしていくためのグループホームを運営している社会福祉法人です。川崎市立稲田中学校の元教員たちが中心となり設立をしました。 活動内容 はぐるまの会は、2つの作業所（①農作業 ②縫製・草木染・焼き菓子等製造・カフェ）と、9つのグループホームを運営しています。1年を通して登山、マラソン大会などの行事に取り組み、秋には地域への感謝を込めた「はぐるま稗原農園収穫祭」を実施しています。 はぐるま稗原農園では、年間を通して農作業を行っています。地域の皆様に安心して食べてもらえるよう、農薬を使わず、協力団体等から提供いただく「生ごみたい肥」や、自家製堆肥などをできる限り多く使用して、健康で美味しい野菜づくりを実践しています。また、麻生区早野にある「はぐるまハーブ園」では、新たな名産品「かわさきハーブソーセージ」「はーぶこーでいある」用のハーブの栽培も行っています。畑での作業は、「自然の過酷さ」と「食べ物の生まれる瞬間を目の当たりにする感動」を同時に体験できる素晴らしいものです。当初の目的は障害の重い方の為の情緒安定の場（園芸療法として役割）としての位置付けでしたが、障害の程度に関係なく、力いっぱい働く喜びを体感できる農作業は、今では無くてはならない仲間たちの社会参加の手段、誇れる仕事となりました。			
2024 年度のトピックス	ドライハーブの生産に注力しました。その結果、ハーブソーセージ、はーぶこーでいあるの原材料となるハーブの生産量を昨年よりも上げることができました。一方、近隣諸団体との協働の機会は新たに発掘することができず、今後の課題となりました。コロナ関連で縮小して実施してきた収穫祭を再開し、これまで以上に地域密着型のイベントとして開催することができました。			
課題	知的に障害をもつ方々が継続できる農業の在り方をこれからも検討していきたいと考えています。支援学校を卒業した方々がやってみたい、こんな仕事をしてみたいと思ってもらえるような取り組みとなる工夫が必要です。			
参加上の案内	毎週、月・木曜日 9：00～12：00 にお手伝いをいただける農業ボランティアさんを募集中です。現在、地権者さんのご厚意により、約 500 坪の農地を活用させていただきながら、安全・安心な野菜＆ハーブ栽培を実践中です。ご興味のある方は下記はぐるま稗原農園へご連絡ください。			
代表者	社会福祉法人はぐるまの会 理事長 高木綾 〒多摩区菅馬場 1-19-24 電話・FAX 044-946-1308 HP https://hagurumano-kai.com/			
連絡先	はぐるま稗原農園 新井多佳夫 〒216-0012 宮前区水沢 2-10-2 電話・FAX 044-920-9411 E-mail koubou@hagurumano-kai.com			

